

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



熱く燃えた3日間

(8月14日～16日 備中高梁駅前大通り)

今年で360年となる県下最大規模の盆踊り「備中たかはし松山踊り」が行われ、大勢の家族連れや若者らが城下町の真夏の夜を踊り一色に染めました。

職域・団体連による踊りコンテストや流し踊り、武士の伝統を受け継ぐ仕組踊り、氷の彫刻展、精霊流し、納涼茶会なども行われました。

高梁の魅力がいっぱい

(8月21日、22日 市内各所)

自分たちの住む高梁の魅力を知ってもらおうと、市内の小学3・4年生を対象に、「高梁すきすき探検隊」が行われました。

参加した児童らは、他の小学校の児童らと交流を深めながら、バスで市内のさまざまな施設などを訪れ、見学や体験を通じて高梁の文化や歴史、産業などを学びました。



つかみどりって楽しいネ

(8月15日 高梁川秋町河原)

「アユのつかみどり大会」(自然と楽しむ会主催)が行われ、大勢の親子連らでにぎわいました。河川をせき止めて造った池にアユ3000匹を放流。参加者たちは、一匹でも多く捕まえようとアユを追いかけていました。

このつかみどり大会は川面・高倉地区の住民が資金を出し合ってボランティアで行っています。



真夏の夜を彩る華麗な「絵ぶた」

(8月11日 マンガ絵ぶた公園一帯)

夏の風物詩「マンガ絵ぶたまつり」が行われ、アニメのキャラクターなどをかたどった「絵ぶた」9基が登場。会場は熱気があふれ、訪れた家族連れらから歓声があがっていました。

出来栄えや練り歩く様子の審査もあり、大賞にはドリームファクトリー（地頭地区の有志）の「ももたろう」が選ばれました。

雑技団の華麗な曲芸

(8月25日 総合文化会館)

「中国文化交流フェスティバル2007」が行われ、岡山県と友好提携を結ぶ中国・江西省の雑技団が華麗な曲芸を披露。来場者は、次々と繰り出される妙技に歓声や拍手を送っていました。

団員らは24日から3日間、市内にホームステイし、市民と交流を深めました。



夏といえば納涼祭

(8月11日 有漢総合グラウンド)

「有漢町納涼ふるさと祭」が開かれ、地元団体による演芸の披露、「来世楽」による歌と津軽三味線ライブなどのステージや、ビンゴ大会、盆踊りコンテストなどがありました。

また、焼きそばや射的などの夜市、打ち上げ花火もあり、来場者らは楽しい夜のひとときを過ごしていました。

ドイツの大学生が市役所の仕事を学ぶ

(8月20日～9月7日 市役所ほか)

日独協会連合会が進める友好交流の一環として、ドイツの大学生3人がインターンシップ（就業体験）のため来高。市役所で各課の業務に携わりながら行政の仕事を学びました。

また、3人は期間中、職員や高梁市国際交流協議会会員の家庭にホームステイし、日本の生活や文化を体験しました。



今月の 表紙

消防車って大きいね～消防写生大会～

市消防本部では毎年5月～9月、防火意識の向上のため、市内の各保育園、幼稚園、小学校へ消防車で出向き「消防写生大会」を行っています。9月5日に訪問した川上幼稚園では、運転席などに乗せてもらった園児たちが大はしゃぎ。消防車の大きさを実感したあと記念撮影を行いました。その後、年長の黄組14人の園児たちは、クレヨンで画用紙いっぱい色鮮やかに消防車を描いていました。